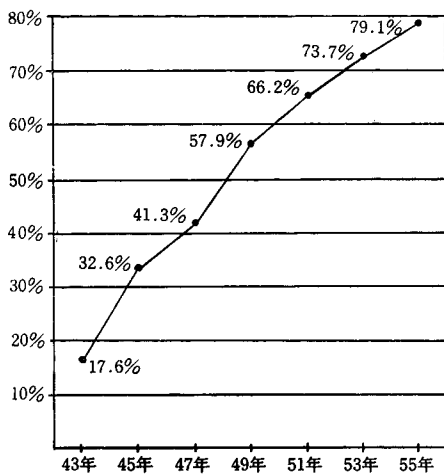


(別表) 加入率の推移



今年も一日一円会費の交通災害共済の募集がはじまりました。交通事故の絶滅はみんなの願いですが、交通事故は次々に発生しております。いづれどこで、このような不幸な事故に遭うかわかりません。一こんなどきに備えるためにぜひ家族全員の加入をおすすめします。

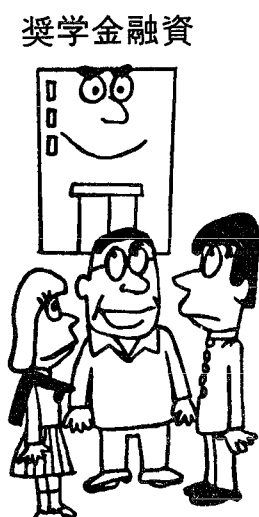
現在加入している人も、三月三十一日で共済期間がおりますので、継続のための加入申し込みを忘れずにしてください。

一日一円で 大きな保障
交通災害共済に 家族そろって加入しましょう。

進学資金が借りられます
小須戸町奨学資金貸与制度

進学シーズンを迎えましたが、小須戸町では大学生(短期大学を除く)を対象にした、奨学資金貸与制度があります。

- 出願の資格**
- ①小須戸町に一年以上居住している世帯の子弟
 - ②人物、学力ともにすぐれ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者
 - ③貸与月額・貸与期間
 - ④貸与月額は二万五千元
 - ⑤貸与期間は、貸与決定の月から在学する学校の最短期間
 - ⑥出願の手続
 - ⑦五十六年度第一回貸与希望者は、奨学資金貸与申込書を四月二十五日まで教育委員会に提出してください。



資格者の決定
 教育委員会では、出願者の人物、健康状態、優秀性、学資支弁の困難な程度などについて検討して選考し、適格性の高い者から町長が採用を決定します。

奨学金の貸与は、年二十名以内とする。

- ①奨学金の貸与は、年二十名以内とする。
- ②奨学金の貸与は、年二十名以内とする。

奨学金融資

この日本列島のどこかで、八分十四秒に一回の割合で火災が発生し、毎日二十八人が亡くなったたり傷ついたりして亡くなった。春先にかけての火災発生件数は、年間の約六割を占めています。

就学援助の申請は 3月14日(在校生)まで

経済的理由によって就学が困難な家庭の子どもに、学用品など教育費を援助する制度があります。

出火原因のトップは たばこ

昭和35年以来、19年間「独走」

年間 130億円が 灰に……

停電のお知らせ

三月二十日(金) 8時30分~12時まで (区域)

- 蔵町四・五丁目
- 新栄町四・五丁目
- 中央町四・五丁目
- 文京町一・二丁目
- 新町二・三・四丁目
- 雁巻町一丁目
- 若葉町一・二・三丁目
- 横川浜
- 小向

国保とわたしたち ④ 積極的に健康づくりを

現在の医療は、病気になる人を治療するだけでは十分でなく、病気になる前に予防するにどうすればよいか、さらに進んで、健康をよりいっそうたかめ、これを保持させるためにはどのようなことがいっとうあります。つまり、健康づくり「に力をいれはじめています。」

成人病とは

成人病という病名は、肝臓病、腎臓病といった特定のひとつの臓器の病気をさすのではなく、成人してからの人びとの健康をおびやかす、ひいては死にいたらしめる病気を総称しています。



そこで、いつまでも健やかであるために、これまでの日常生活の姿勢を再点検する必要があります。成人期を長い間維持し、老令期をすやかに送るためには、成人に多い病気である成人病を予防することがますます大切になってきました。

3月10日(火) 交通安全 家庭の日

今月のテーマ 「速度は控え目に 安全運転を しましょう」

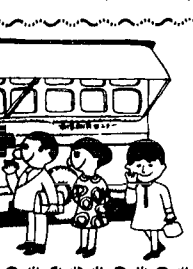
献血にご協力をお願いします

移動採血車「ゆうあい号」がきます

とき 3月24日(火)

ところ 役場前 加藤製作所前(大川前)

AM 10:00~12:00 PM 1:00~3:00



① 中年すぎで急増します。

② 働き過ぎの一家の柱ともいえる成人病をおそいます。

③ 自覚症状がありません。

④ 原因がはっきりしません。

⑤ 悪いのか、悪くないのかハッキリしません。

⑥ ガンコに進行します。

成人病という病名は、肝臓病、腎臓病といった特定のひとつの臓器の病気をさすのではなく、成人してからの人びとの健康をおびやかす、ひいては死にいたらしめる病気を総称しています。

長かった冬も終り、いよいよこどもたちが屋外で活動する季節になりました。ところが、その尊い命や身体が交通事故により失われ、傷つけられていくのです。そのほとんどが、幼いこどものせいばかりではなく、私たちおとなの責任なのです。

また、出火原因のトップは相変わらずたばこで、年間約百三十億円が灰となっています。

二月二十八日から三月十三日まで、春の全国火災予防運動が行われています。

小須戸町では、幸いに昭和五十四年十一月から火災は起きておりませんが、これからも火のもとには、十分気をつけてみましょう。